

令和7年度 第1回生駒市社会教育委員会議録（要約筆記）

1 日 時 令和7年7月23日（水） 午前10時00分～午前11時45分

2 場 所 生駒市コミュニティーセンター 402・403会議室

3 出席者

（委員）大谷裕美子委員（議長）・浦林直子委員・岡島保弘委員・岡本純子委員・
上武敏一委員・小竹仙哉委員・坂本剛伸委員・清水泰之委員・土本みさ子委員・
中畑直実委員・連靖和委員

（事務局）原井教育長・坂谷生涯学習部長・甫田生涯学習課長・
綾野生涯学習課専門官・福田生涯学習課主幹生涯学習係長兼務・
西野図書館長・谷江図書館北分館長・中川図書館南分館長・入井駅前図書室長・
西スポーツ振興課長・大畑スポーツ振興課長補佐・
生涯学習課 山本・松井・金田

（欠席者）大野與志子委員・白井一三委員・松木厚子委員

（会議の公開・非公開）公開

（傍聴者）なし

4 議事内容

(1)教育長あいさつ

(2)委員紹介

(3)副議長の選出について

(4)令和6年度「社会教育基本方針及び重点目標」にかかる実績報告

(5)令和7年度「社会教育基本方針及び重点目標」について

(6)その他

(1) 教育長あいさつ

(2) 委員紹介

(3)副議長の選出について

委員の交代により副議長を新たに選出し、全会一致で生駒市校長会の小竹仙哉委員に決定。

(4)令和6年度「社会教育基本方針及び重点目標」にかかる実績報告

■基本方針に係る令和6年度「社会教育基本方針及び重点目標」の実績報告について、各課より説明を行った。

「主体的に学ぶ「人」を育み、人と人がつながり支え合える「地域」を市民とともにつくります。」

■令和6年度重点目標や事業についての質問や意見

浦林委員 ischool の目標としていた参加人数と今後の展望というところをお聞きしたいと思います。

浦田生涯学習課長 まず参加者はおおむね1講座30人位を目標としており、ほぼ目標位です。あまりにも人気が高い講座は抽選制という形で、会場の都合で人数をしばっているのが現状です。

今年の目標は令和7年度の方で説明差し上げる部分になりますが、大人も子どもと一緒に学べるような講座だけでなく様々な企画をさせていただいて、すすめさせていただきたいと思います。

浦林委員 若い世代や働いている世代をターゲットにした施策ということは理解し応援していますが、「家庭教育・学教教育」を超えて、地域・社会において究極的に言うとどんな世代どんな立場の方も参加できるというのが本来あるべき生涯学習だと思います。

世代によって選べるメニューが違い、私が今50代なので、ischoolは若い働き盛りの方やお子さんが対象で自分はもう違うのかなど。60代になると寿大学に行くことになるのかと。

ischoolや高校生を対象にしたイベントは関心をもち参加してもらおうという手段であって、例えば「妖怪の講座」に小学生と生駒の妖怪話を知っている地域の高齢者が一緒に参加している、というようになることが本来の社会教育を通して人と人がつながるあるべき姿なのではと思います。

すべての人が学んでいく成長する場を提供するという意味で、興味を持った方がど

んな方でもいろんな場所で参加して勉強できるようになってほしいです。

大谷議長 生涯学習のこういうプログラムを作っていただくにあたり、誰でも受けられるというのはとても大事だと思いますが、NHK の E テレの番組のように対象が決められた講座もまた必要なんじゃないかなと感じています。今回の発表の中でもこの世代と決められていることで行く側としてはお仲間がいらっしゃるかなとか、自身に年齢や立場が近い方が行っているのかなと安心して、初めての方でも一歩踏み出しやすい部分もあるんです。世代限定ではなく興味がある人が入っていただけるような、スポットで入りたい人が入れるような文言を足すことも考えていただきたいです。

中畑委員 今日初めての参加で、生涯学習の学習の場の広報のしかたをどうなさっているか知りたいと思いました。

引込み思案の性格の方もいらっしゃるし、ほんとに困っている人はなかなか来なかったりするので、学びたい人のきっかけ作りってどういう風になさっているのかなと思いました。

生駒市家庭教育支援チーム「たけのこ」っていう活動をなさっているのを知りませんでした。小学校と連携しているとのことですが、人格形成の基礎が 90%決まるといわれているので、乳幼児の施設とも連携したいと思いました。

今のこどもは、身体を動かす機会が少なくなっていて、転んでも顔からいくんです。そういう意味でスポーツ施設やスポーツクラブがあるのは良いと思いました。何歳ぐらいから利用できるのかお聞きしたいと思いました。

甫田生涯学習課長 生涯学習課が実施している ischool 等の事業は広報に掲載するのはもちろんですが、小学校、中学校の「すぐーる」や幼稚園保育園の「彩(いろどり)」や、テーマごとのちらしの配布、市のホームページとは別に専用のページを持っている ischool のホームページで今後の案内や、実施した講座のレポートの掲載をして、ウェブでのお申込で参加者を募集したり、情報を発信しています。今後より多くの方に伝わるようにしていきます。

生駒市家庭教育支援チーム「たけのこ」については、「たけのこ」に所属されている委員から後ほど補足していただきますが、小学校に訪問させていただいて、そこで保護者が日頃思っていることを保護者同士で出し合うような場を作ってまいりま

した。幼稚園の方に今年度初めて行かせていただいたりもしていますので、その機会があれば積極的に行かせていただきたいと思っています。

西スポーツ振興課長 広報の仕方については甫田課長が申し上げたとおりです。特に障がい者の事業についてはピンポイントでその方々にお届けしたいので、特別支援学級、養護学校、市内の生活支援センター、放課後デイサービス、事業所等に届くようにチラシを配架しています。

また総合型地域スポーツクラブは多世代、多種目、多志向という3つの大きな理念がありますので、赤ちゃんぐらいから幅広くスポーツに触れ合える機会を作っていたいております。

岡島委員 生駒市家庭教育支援チーム「たけのこ」は、メンバーのみなさんにごんばっていただいています。私も保護者の経験があつて子育てが終わって社会教育委員の集まりに参加して思ったことは、保護者にとって人生の中で短い子育ての時間を大切にしたいです。

広報につきましては、現在は多種多様なツールがあり多種多様な対応をしていかなければならなくなつて大変な労力がかかっていますが、子育てに不安要素がある人同士が集まつていろんなことをしゃべられて、来られる方同士の力で解決していきます。やればやるほど保護者の明るい未来の機会をつくることができるんじゃないかと思つてやっています。

参加していただいた皆さんが口コミで良いことを伝えていける場を作るようにやらせていただいて、参加していただいたみなさんのおかげで周知されていますので、(ソフィア東生駒こども園にも)お話があれば行かせていただこうと思います。

大谷議長 図書館長から小学生へのタブレットを活用した電子書籍の利用促進で小学校との連携ができたことについてお話がありました。小竹校長先生いかがでしょうか。

小竹副議長 私が所属している生駒北小中学校で、特に小学校がここ2年にわたり読解力の向上ということに取り組んでいます。人数が少ない学校で表現力をしっかりとつけることに重きを置いてきましたが、特に小学校の文字を読むだけでなく理解する読解力が落ちてきているということに教員が気づきました。

地域の意見では、こどもは(紙の書籍は読んでいなくても)電子書籍なら読んでい

るんじゃないかと言われました。

電子書籍ですと、行きにくい図書館まで借りに行かなくてよく、自分で検索するのも一瞬で出てきて借りることができるので、いいツールではないかなと思っており
ました。子どもたちに呼びかけをしていきたいです。

本校の中学生はビブリオバトルをして市の大会に出させてもらっています。同じ校舎
にいる小学6年生から中学生のバトルの話聞いてビブリオバトルの世界に触れ
ています。子どもたちも市の大会で自信を持って本を読む楽しさを心から訴えている
ので、今後も図書館とつながってやっていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしく
お願いいたします。

上武委員 働く大人の週末ゼミについて、われわれ中小の小規模事業者は従業員を教育する
機会がないので、こういった形で実現できたのはありがたいと思っています。

先程、事業の参加人数のことをおっしゃったけれど、評価するにあたり参加人数しか
数字が出ないのは難しいところです。これは1年やそこらですぐに成果が出るという
ものではないので、続ける事が大事かなと思います。

第3次生駒市教育大綱に「職業に就く力」と書いていますので、長く続けていくこと
によって成果があればやっている甲斐があるかなと思います。

今年もがんばってほしいと思っています。

大谷議長 アントレプレナーシップとかキャリア教育につながっていくものだと思います。
よろしく申し上げます。

(5)令和7年度「社会教育基本方針及び重点目標」について

■基本方針に係る令和7年度「社会教育基本方針及び重点目標」について、各課より説明を
行った。

「主体的に学ぶ「人」を育み、人と人がつながり支え合える「地域」を市民とともにつく
ります。」

■令和7年度重点目標や事業についての質問や意見

坂本委員 2点要望と提案があります。生駒市社会教育基本方針及び重点目標について令和

6年度と令和7年度を比較して見たときに、内容が同じという印象です。

令和6年度に実施した事業を反省し、令和7年度に改善して成長させていきたい、具体的にこういう工夫をしたと報告があったほうがいい。

令和7年度の説明で、各課長が口頭で説明されたコメントのキーワードだけでも資料に記載しておいていただいたら、わかりやすくなって有意義な議論ができると思います。

教育委員会として南小学校中学校一貫校のプロジェクトが進んでいて、そして地域の「せせらぎ」コミュニティで、消防署、図書室、南交番があり、南生駒駅のバリアフリー化が進んでいます。

南生駒を起点とした新しい地域と一体化した一貫校のモデルというコンセプトとして検討されていると認識しているが、社会教育の一環として地域と一体化した新しい一貫校なので、教育委員会の主担当課と生涯学習部と社会教育の分野で連携してほしいというのが要望であり、提案です。

大谷議長 説明や報告の仕方について工夫していただいで私たちに教えてほしいということですのでよろしくお願いします。

岡本委員 生駒市子どもの本連絡会で図書館と一緒にサマーフェスティバルを今年は桜ヶ丘小学校で環境問題や地球温暖化について紙芝居と講演をさせていただくことになっています。

ここ6年間は小学校を回らせていただいでいて、北小も回っています。先ほど中畑委員がおっしゃったように乳幼児期からの教育って大事ななと思います。

トライ！ 生駒こども読書会議にも参加しています。いろんな方を講師として連れてきていらっしゃる。学校の先生とか幼稚園の先生とかボランティアが集まって話を聞いていますが、SNSの問題やスマホの使い方など保護者の方も聞きたかっただろうと思う内容なので、保護者の方に内容が行きわたると良いと思います。

それと、ischool for kids に、図書館も関わって、関連したような本を置いたら保護者も見るのでいいのではと思いました。

連委員 生駒市子ども会育成連絡協議会会長の立場で発言します。小学校の5年生、6年生、中学生を対象に青少年の活動をしています。その後の高校生、大学

生の受け皿がないんです。

昔あった生駒市青年団協議会が今はないので、受け皿的なものもなく、施策がない。これから成人になる大学生あたりが生駒市でいろんな活動をして、就職して子どもを連れて生駒に帰ってくるような循環をするとよりよい生駒市になるんじゃないかと、みんなで相談している最中です。

土本委員 令和7年度の事業内容に「生涯学習施設整備事業」とありますが、わたしもたけまるホールを借りる予約に行きましたら、その日はこの工事をしているから使えませんとか、度々ありました。改めて行かなくて済むように、予約に行く前にわかるようにしていただきたい。

西スポーツ振興課長 事前にわかる範囲でお知らせしているのですが、わかりやすくしていきたいです。

清水委員 坂本委員がおっしゃっていたように生駒市社会教育基本方針及び重点目標はイベントの説明を聞いているだけでなく、課題と成果を整理して、課題について総括をして、今年はどういうことをするのか発表してほしい。

もう一つ言いたいのは、前はコミュニティスクールということがしきりに言われたけれど、今は主体的という言葉がたくさん出ている。

毎朝通学路に立っていて、三叉路で旗を持って子どもを止めていた時に子どもの主体性がなく私の顔を見て指示がないと渡らないので、5、6年前から電柱に隠れるようにした。

そうすると、手を挙げて渡っていません。5、6年やっているうちに渡るときに私の顔を見るのではなく、何人かは運転手の方を見て手を挙げてくれるようになった。

ボランティアが増えてかゆい所に手が届きすぎてかえって主体性を阻害しているのが今の状態ではないかと感じています。じゃあどうやったら主体性が育つのか。

どんな子どもを育てるんだということも像をみんなが共通理解できていないのではないかと考える時期に来ているんじゃないかと思います。

大谷議長 ご意見ありがとうございました。

社会教育は学校教育とのつながりもあるし、生涯学習とのつながりもあるし、広い範囲ですので団体同士の横のつながりが必要です。

これからもご協力をお願いします。

(6)その他

■こんにちわ（やまびこネットワーク）No.43について

清水委員 地域のあいさつ運動の成果の一つを紹介します。

通学路に面した家の中から毎日子どもたちを見守っていた猫のお家の方が引越されるときに子どもたちにメッセージを書いてくれたことを会報に載せたら、地域の中で人間だけではなく猫も子どもたちを見守っていたことが非常に反響があり、「記事を見て、私も犬の散歩をしながら子どもたちを守ります」と電話がかかってきました。こういうことが社会教育なのかなと思って紹介させていただきます。

■教育委員との意見交換会について

事務局 昨年度活発に意見交換した教育委員と社会教育委員の意見交換の場を今年度も持ちたいので、こんなテーマでということがあればご意見いただきたい。

大谷議長 教育委員と社会教育委員の意見交換の場について今年もお受けしようと思えます。反対の方はおられませんか。では進めていきます。

話したいテーマについては後日ご連絡ください。

事務局 日程調整にこれから入りますので決まりましたら改めてご連絡します。

■第 36 回奈良県社会教育研究大会の案内について

■社会教育委員の交代予定について

土本委員 11月末に民生委員が交代になります。社会教育委員として6年間皆さんととてもいい勉強をさせていただきました。

これからも元社会教育委員として放課後子ども教室や朝の見守りなどの活動を続けていきたいです。

閉会